

I P P O

一校内研修支援プログラム 使用説明書

目次

項目	ページ
1 プログラム利用の準備	1
1-1 この説明書の記述について	1
1-2 プログラムの動作環境等	1
1-3 プログラムファイルのコピー	1
1-4 プログラムファイルの起動	4
2 プログラムファイルの利用	5
2-1 スタート画面	5
2-2 各ボタンの説明(機能概要)	6
3 児童(生徒) 出席番号・氏名管理の入力	7
3-1 入力画面	7
4 レポートの作成	8
4-1 「課題発見・解決学習」の充実に向けて	8
4-2 学力に大きな課題がある児童(生徒)(正答率40%未満など)への支援に向けて	10
4-3 正答率下位3問の状況を踏まえた指導の改善に向けて	11
4-4 S-P表を活用した授業改善に向けて	13
4-5 児童(生徒)の生活と学習に関する意識, 実態を踏まえた指導改善に向けて	14
5 全国学力・学習状況調査の「調査結果の CD-R はない」場合の操作方法	16
(「基礎・基本」定着状況調査のみ実施校)	
5-1 プログラムファイルの起動	16
5-2 スタート画面	16
6 プログラムの終了と再起動	18

1. プログラム利用の準備

1-1. この説明書の記述について

- 以下の説明はWindows マシンの使用を前提としています。(OSの対象は、Windows 7以降です。)
- 【 】はプログラム画面名を表します。
- « »はプログラム画面上のボタン名を表します。マウスを左クリックして利用します。
- ここでは小学校の入力を対象とした表記をしています。中学校の場合は、適宜読み替えてください。
(児童→生徒、算数→数学など)

1-2. プログラムの動作環境等

- 本プログラムは次の条件を満たすパソコンで動作します。
- Windows 7, Windows 8, Windows 10
- マウス等のポインティングデバイスが接続されていること。

1-3. プログラムファイルのコピー

- 以下は小学校で本プログラムを利用する場合を想定して説明します。
- ①本プログラムを利用するにはまず、配付されたCD-Rに入っている圧縮されたプログラムファイル「IPPO. ZIP」をパソコン本体のハードディスク(デスクトップ上)にコピーします。
 - コピーの際にファイル名を変更しないようにして下さい。プログラムが正常に動作しなくなります。
 - ②コピーしたファイルをダブルクリックして解凍すると、パスワードの入力を求められます。
別途連絡されているパスワードを入力してください。
 - ③パスワードを入力すると、デスクトップ上に「IPPO」フォルダが作成され、その中に「Windows 7」と「Windows 8, 10」の2つのフォルダがあります。お使いのパソコンのOSがWindows 7の場合「Windows 7」フォルダを、Windows 8, 10の場合「Windows 8, 10」フォルダをダブルクリックしてください。その中にプログラムファイル「IPPO」があります。

これ以降、パソコン本体にコピーしたプログラムファイルを起動してください。

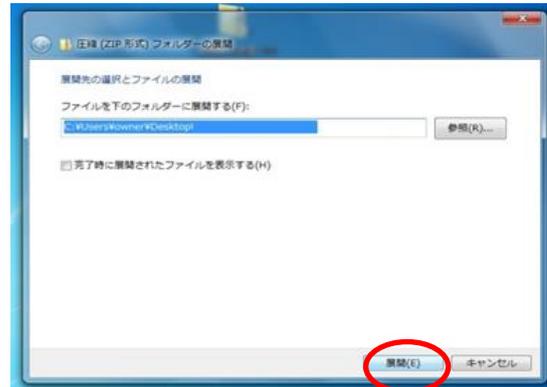


デスクトップ上にショートカットの作成

使用するたびにフォルダを開いて「IPPO」のプログラムファイルをクリックする作業を軽減するために、デスクトップ上に「IPPO」のプログラムファイルのショートカットを作成すると便利です。「IPPO」のプログラムファイルを右クリックし「ショートカットの作成」を左クリックします。ショートカットがフォルダ内に作成されますので、それを切り取ってデスクトップ上に貼り付けます。「IPPO」のショートカットをダブルクリックすればプログラムが起動します。

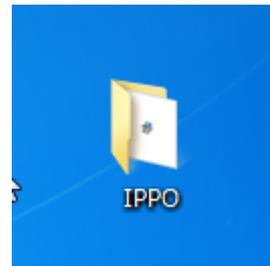
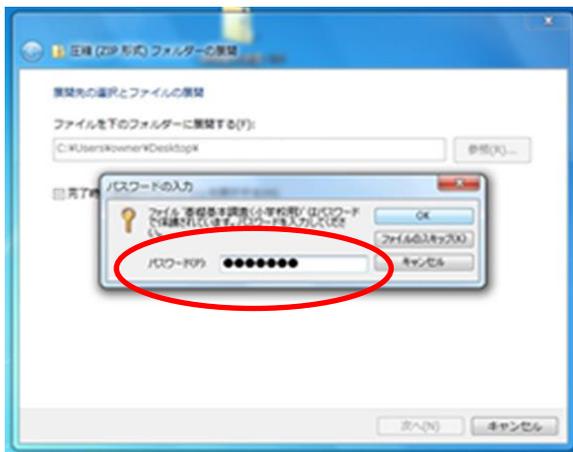
①マウスを右クリックし、
上から2番目の「すべて展開」を選択する。

②展開を左クリック

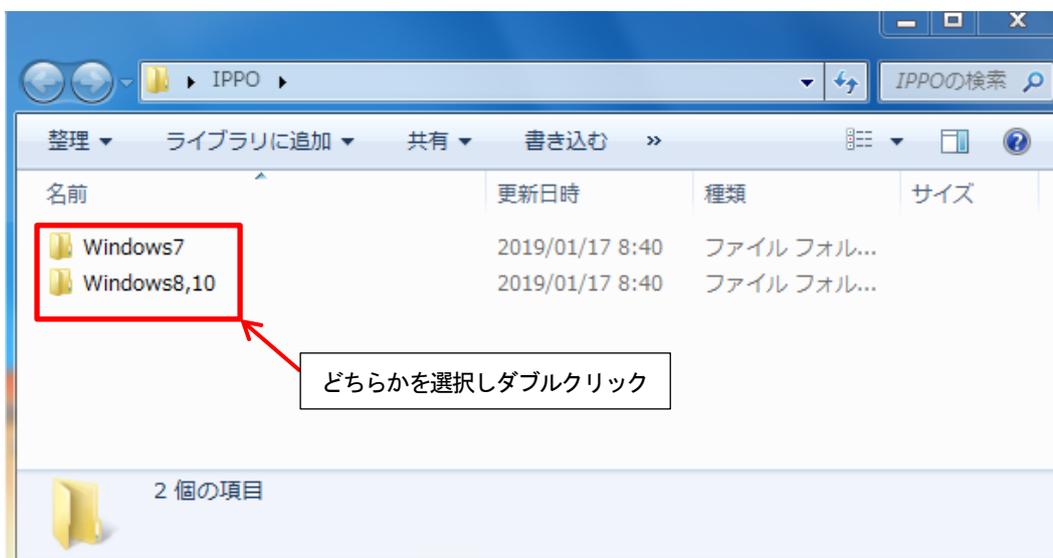


③パスワードを要求されるので、
別途連絡されているパスワードを入力。

④デスクトップに保存完了。



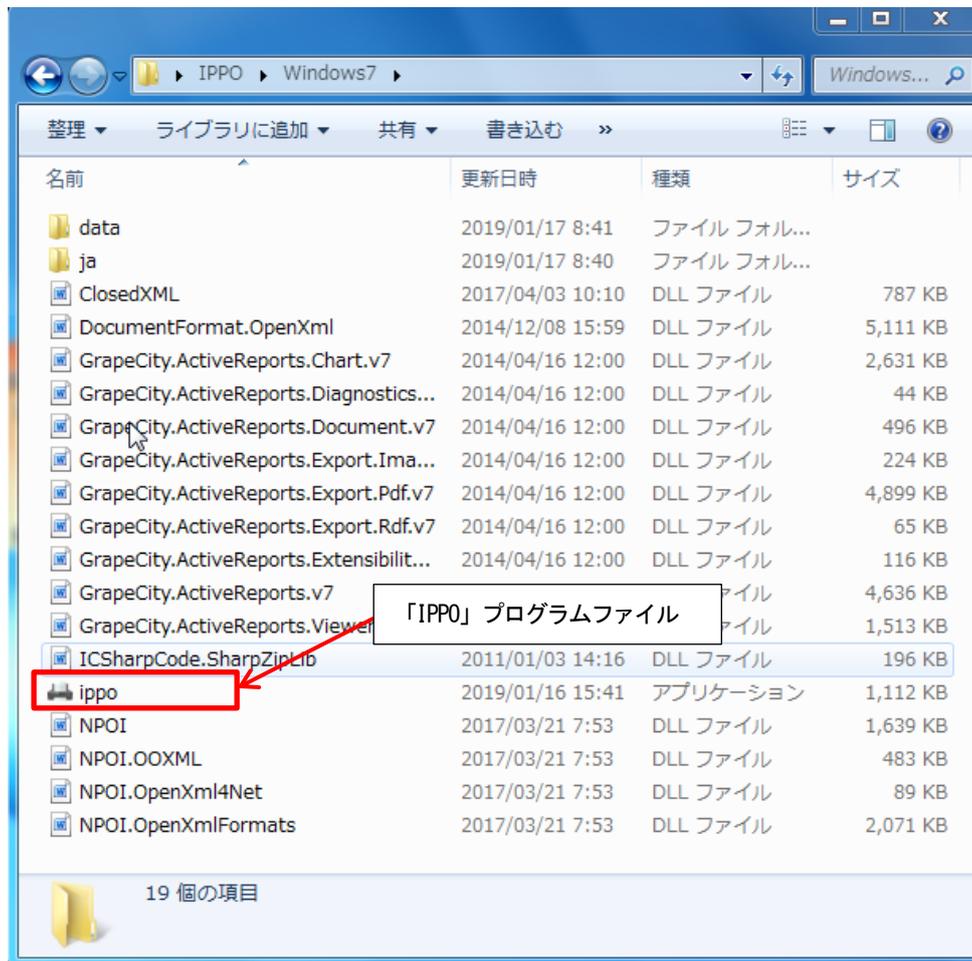
⑤「IPPO」フォルダをダブルクリックすると、「Windows 7」フォルダと「Windows 8, 10」フォルダがあります。お使いのパソコンのOSにより選択してください。



⑥ 「Windows 7」フォルダを開くと、「IPPO」の名前がついたものがプログラムファイルです。



← このアイコンが目印となります。



プログラムファイル以外の使用禁止について

「IPPO」以外のファイルは使用できません。フォルダ内の他のファイルをダブルクリックしたり拡張子を変更したりした場合、プログラムファイルが動作しなくなります。「IPPO」プログラムファイル以外の使用は絶対にしないでください。

ここからの操作説明は、全国学力・学習状況調査の「調査結果の CD-R がある」学校と、全国学力・学習状況調査の「調査結果の CD-R はない」学校（「基礎・基本」定着状況調査のみ実施校）に分けて説明します。

全国学力・学習状況調査の「調査結果の CD-R がある」学校は、以下続けて操作説明を読んでください。

全国学力・学習状況調査の「調査結果の CD-R はない」学校（「基礎・基本」定着状況調査のみ実施校）は、
「5 全国学力調査の「調査結果の CD-R はない」場合の操作方法」から操作説明を読んでください。

1-4. プログラムファイルの起動

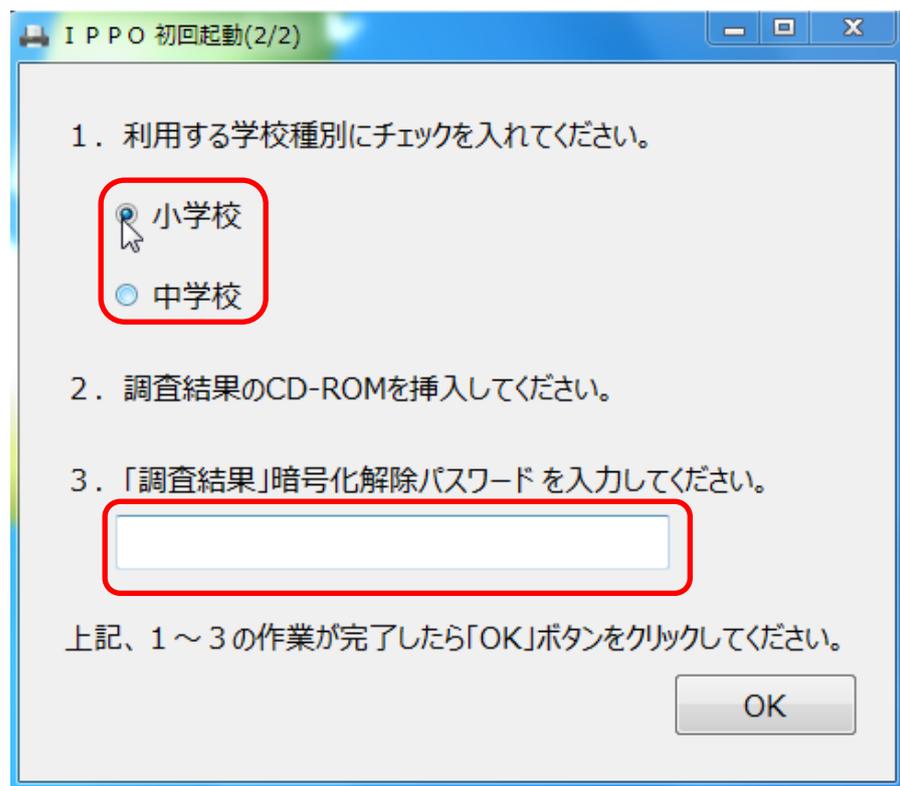
- プログラムファイル「IPPO」プログラムをダブルクリックすると【IPPO 初回起動(1/2)画面】が表示されます。(図1-4-1)
- «調査結果のCD-ROMがある»を左クリックしてください。
- 送付済みの全国学力・学習状況調査の調査結果CD-ROMとパスワードが記載された葉書を用意してください。

(図1-4-1)



- «調査結果のCD-ROMがある»を左クリックすると、【IPPO 初回起動(2/2)画面】となります。(図1-4-2)
1. 小学校の場合, «小学校»の左横にある ○ を左クリックしチェックを入れます。
 2. パソコンに調査結果のCD-ROMを挿入します。
 3. パスワードが記載された葉書に記入してある「調査結果」暗号解除パスワードを入力します。
※ 小文字・大文字・英数字の違いに注意して入力してください。
 4. 1～3までの操作作業が完了したら«OK»ボタンを押してください。

(図1-4-2)

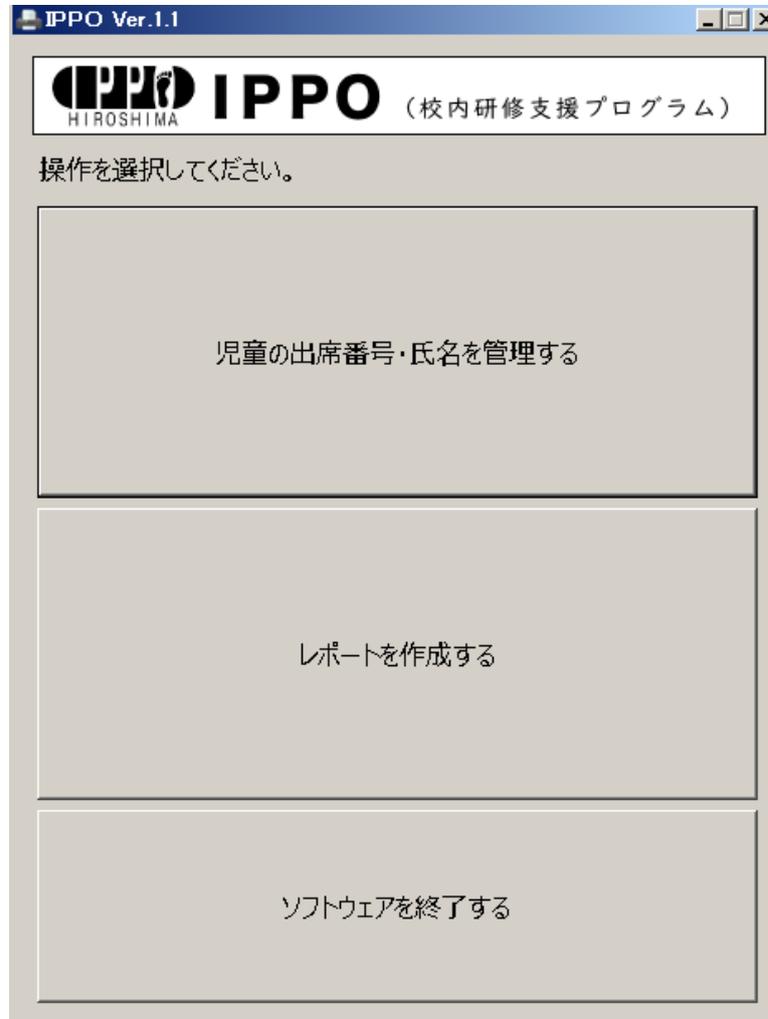


2. プログラムファイルの利用

2-1. スタート画面

- ・【IPPO 初回起動(2/2)画面】での操作が完了すると、【スタート画面】が表示されます。(図2-1-1)

(図2-1-1)



CD-ROMの取り出し忘れ防止について

「IPPO」プログラムは、CD-ROMを挿入してパスワードを読み込んだ時点でCD-ROMのデータを記憶します。したがって、スタート画面が表示された時点でCD-ROMを取り出すことができます。CD-ROMの取り出し忘れ防止のために、早めにCD-ROMを取り出すことを推奨します。

2-2. 各ボタンの説明（機能概要）

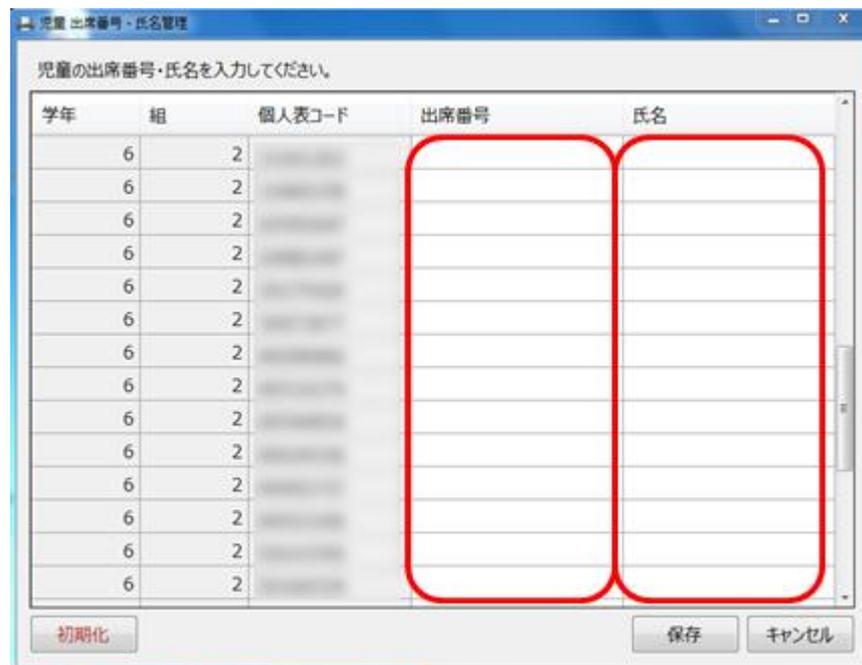
《ボタン》	説 明
《児童の出席番号・氏名を管理する》	<ul style="list-style-type: none"> ・S-P 表レポートに児童・生徒の出席番号・氏名を出力するための管理プログラムです。児童・生徒の出席番号と氏名を入力します。
《レポートを作成する》	<ul style="list-style-type: none"> ・5種類のレポートを作成します。 ①「課題発見・解決学習」の充実に向けて 平成30年度「基礎・基本」定着状況調査結果に基づき、「課題発見・解決学習」に関する取組状況について自校の結果と広島県平均を比較したグラフをレポート出力します。 ②学力に大きな課題がある児童（生徒）（正答率40%未満など）への支援に向けて 平成30年度全国学力・学習状況調査結果に基づき、自校の各教科における正答率40%未満の児童（生徒）数と問題別正答率と無解答率を広島県平均と比較したレポートを出力します。 ③正答率下位3問の状況を踏まえた指導の改善に向けて 平成30年度全国学力・学習状況調査結果に基づき、自校の各教科における正答率下位3問の状況のレポートを出力します。 ④S-P表を活用した授業改善に向けて 平成30年度全国学力・学習状況調査結果に基づき、各組と各教科のS-P表を出力します。 ⑤児童（生徒）の生活と学習に関する意識、実態を踏まえた指導改善に向けて 平成30年度「基礎・基本」定着状況調査結果に基づき、児童（生徒）質問紙における県平均との差上位下位5事項について、レポートを出力します。
《ソフトウェアを終了する》	<ul style="list-style-type: none"> ・「IPPO」を終了します。

3. 児童(生徒) 出席番号・氏名管理の入力

3-1. 入力画面

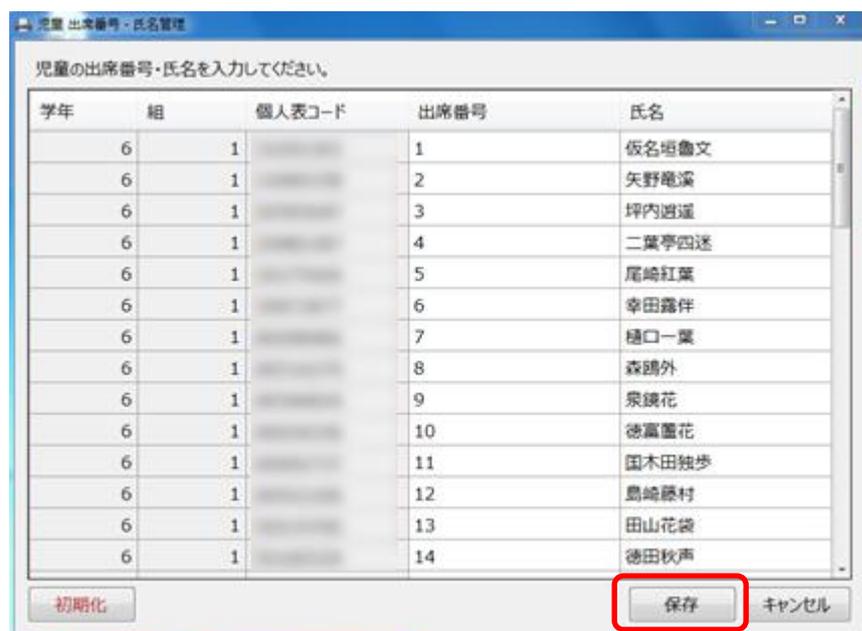
- ・【スタート画面】(図2-1-1)で《児童(生徒)の出席番号・氏名を管理する》を左クリックすると【児童(生徒) 出席番号・氏名管理画面】が表示されます。(図3-1-1)
SP表レポートに児童・生徒の出席番号・氏名を出力するための管理プログラムです。
- ・学年・組・個人表コードから分かる児童(生徒)出席番号と氏名を用意してください。
- ・【児童(生徒) 出席番号・氏名管理画面】に出席番号と氏名を入力してください。(図3-1-2)
- ・エクセルやワードからの貼り付けは、セル1個ずつなら可能です。連続貼付は出来ません。
- ・入力が完了したら、《保存》を左クリックします。出席番号・氏名のデータを消去する場合は、《初期化》を左クリックします。

(図3-1-1)



学年	組	個人表コード	出席番号	氏名
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			
6	2			

(図3-1-2)



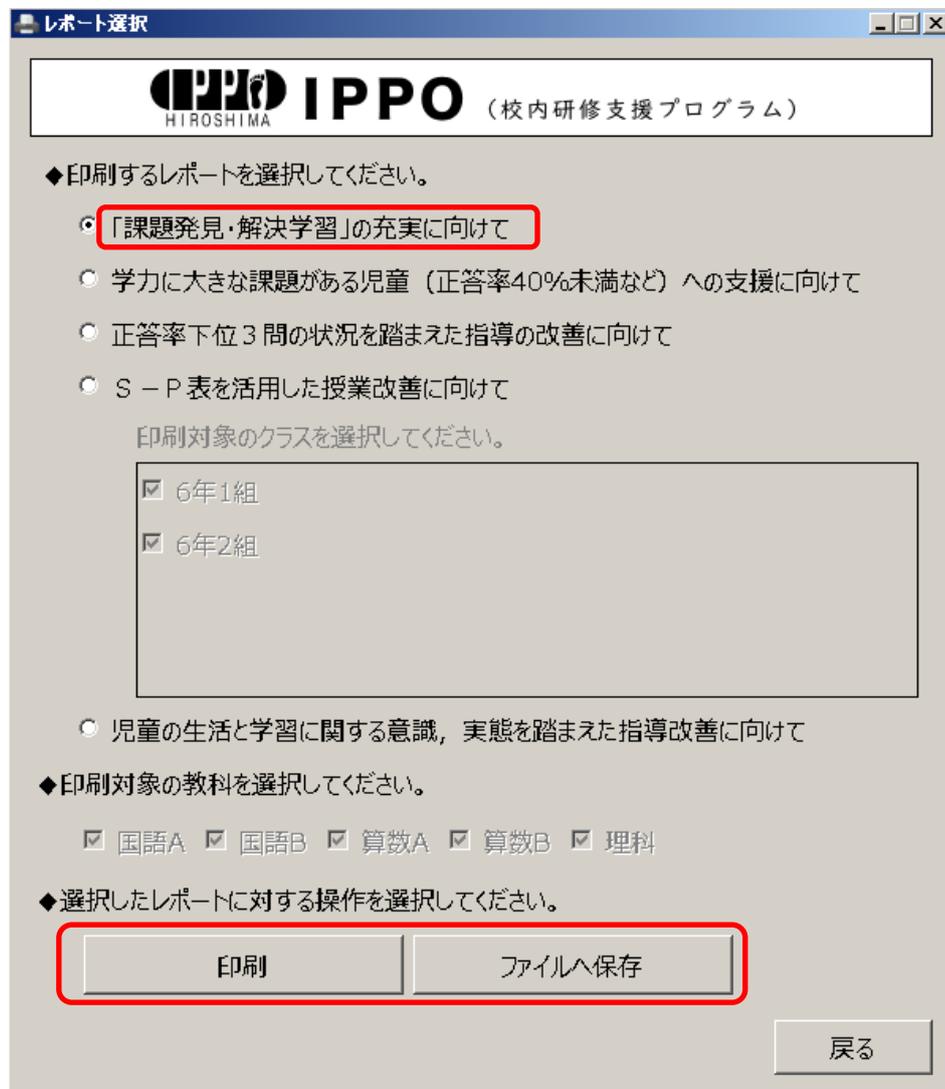
学年	組	個人表コード	出席番号	氏名
6	1		1	仮名垣魯文
6	1		2	矢野龍溪
6	1		3	坪内逍遙
6	1		4	二葉亭四迷
6	1		5	尾崎紅葉
6	1		6	幸田露伴
6	1		7	樋口一葉
6	1		8	森鷗外
6	1		9	泉鏡花
6	1		10	徳富蘆花
6	1		11	国木田独步
6	1		12	島崎藤村
6	1		13	田山花袋
6	1		14	徳田秋声

4. レポートの作成

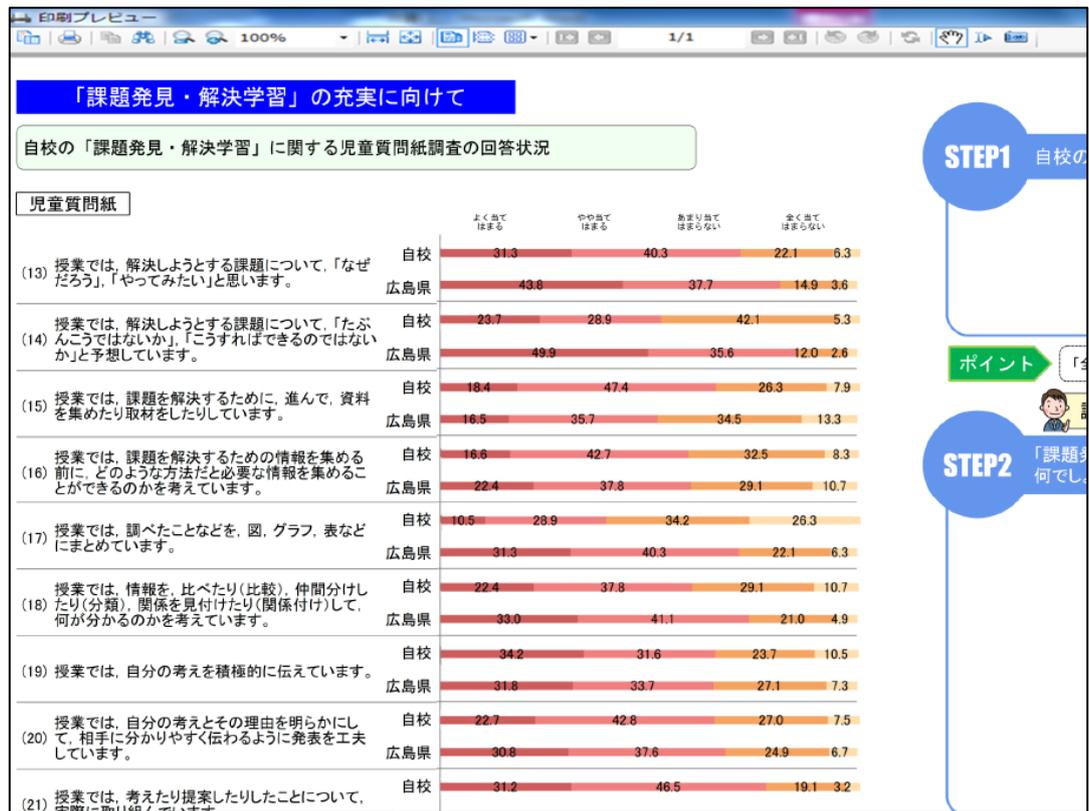
4-1. 「課題発見・解決学習」の充実に向けて

- 【スタート画面】(図2-1-1)で「レポートを作成する」を左クリックすると【レポート選択画面】が表示されます。(図4-1-1)
- 「◆印刷するレポートを選択してください。」の下の「課題発見・解決学習」の充実に向けて」の左横にある○を左クリックしチェックを入れます。
- 「印刷」を左クリックすると、【印刷プレビュー画面】が表示されます。(図4-1-2)
- 【印刷プレビュー画面】の上段にある左から2番目の印刷アイコンを左クリックすると印刷が出来ます。印刷は、A3版となります。(図4-1-3)
- 【レポート選択画面】(図4-1-1)「ファイルへ保存」を左クリックすると、PDFファイルで保存が出来ます。保存場所の選択画面が出ますので、保存場所を選択し「保存(S)」を左クリックすると、PDFが作成されます。保存の時に、ファイル名を変更することが出来ます。(図4-1-4)

(図4-1-1)



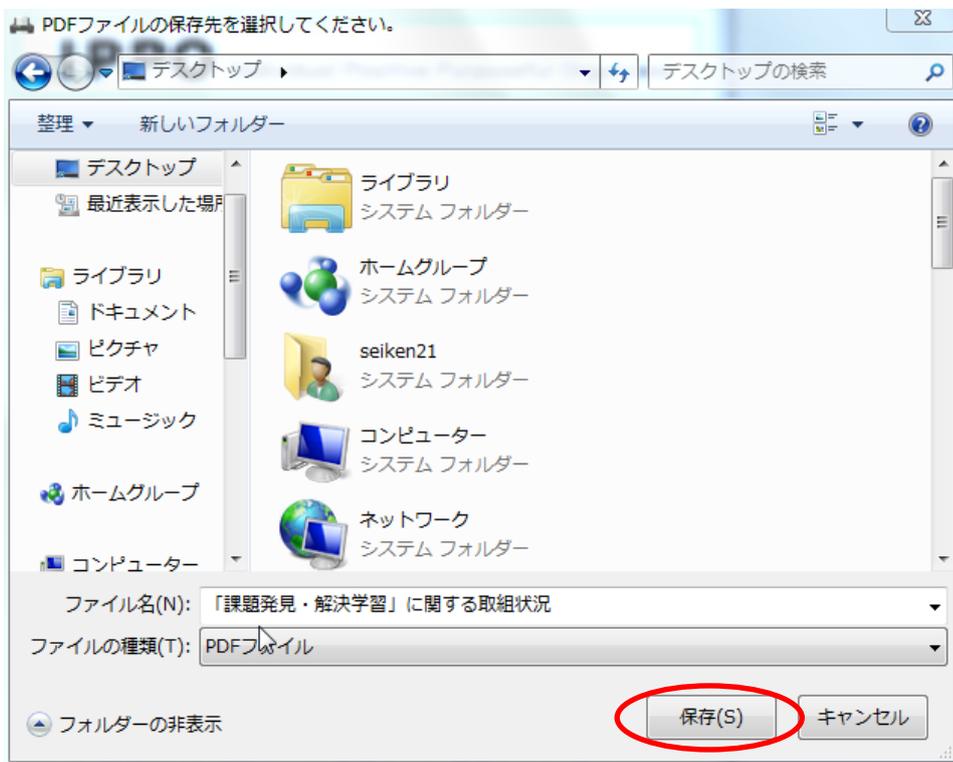
(図4-1-2)



(図4-1-3)



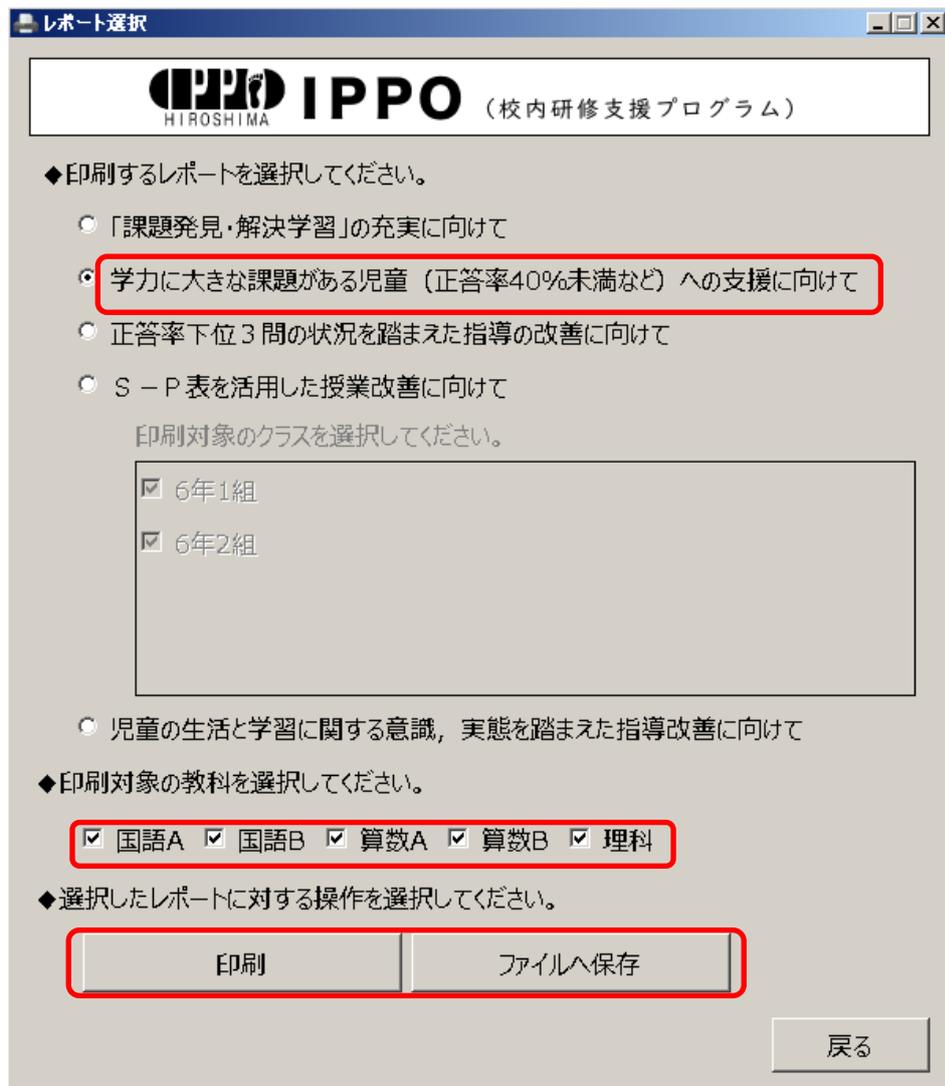
(図4-1-4)



4-2. 学力に大きな課題がある児童（生徒）（正答率40%未満など）への支援に向けて

- 【スタート画面】（図2-1-1）で「レポートを作成する」を左クリックすると【レポート選択画面】が表示されます。（図4-2-1）
- 「◆印刷するレポートを選択してください。」の下の「学力に大きな課題がある児童（生徒）（正答率40%未満など）への支援に向けて」の左横にある を左クリックしチェックを入れます。
- 「◆印刷対象の教科を選択してください。」の下にある教科の左横の に左クリックでチェックを入れます。チェックは1つだけでも複数でも可能です。
- 「印刷」を左クリックすると、【印刷プレビュー画面】が表示されます。（図4-2-2）
- 【印刷プレビュー画面】の上段にある左から2番目の印刷アイコンを左クリックすると印刷が出来ます。印刷は、A3版となります。
- 【レポート選択画面】（図4-2-1）「ファイルへ保存」を左クリックすると、PDFファイルで保存が出来ます。保存場所の選択画面が出ますので、保存場所を選択し「保存(S)」を左クリックすると、PDFが作成されます。保存の時に、ファイル名を変更することが出来ます。

（図4-2-1）



(図4-2-2)



学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）への支援に向けて（国語A）

自校の国語Aにおける学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）の状況

自校の国語Aにおける学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）の数 7人

該当する児童を確認しながら手立てを検討しましょう。

国語Aにおける正答率と無解答率

問題番号	題意	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		全島県 (全県)	前期	前回の印刷版	全島県 (全県)	前期	前回の印刷版
1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	92.5	85.5	75.5	0.1	0.0	0.0
2	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する	75.8	72.5	45.5	0.2	0.0	0.0
3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する	78.0	58.2	14.4	0.2	0.0	0.0
4	『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	75.4	73.6	52.2	0.3	2.0	15.2
5	【春休みの出来事の一部】の中で、――部と――部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	39.0	29.2	5.4	3.1	7.8	24.8
6	慣用語の意味と使い方として適切なものを選択する（心を打たれる）	92.4	79.6	0.0	1.2	5.6	12.0
7	【話を聞いている様子の一部】の「ア」「イ」に入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	60.4	40.6	30.7	2.1	6.8	28.8
8ア	文の中で漢字を使う（せい造）	75.6	81.4	32.1	4.2	7.2	37.8
8イ	文の中で漢字を使う（せつ備）	84.2	87.4	21.5	5.1	9.6	43.8
8ウ	文の中で漢字を使う（しょう毒）	83.7	85.7	31.9	5.4	10.0	31.9
8エ	文の中で漢字を使う（かん理）	68.0	62.4	1.5	6.1	13.4	41.0
8オ	文の中で漢字を使う（せつ頼的）	54.1	52.8	11.5	6.4	10.4	52.8

STEP2 教科の内容の系統
自校の学力に大きな課題のような学習のどの

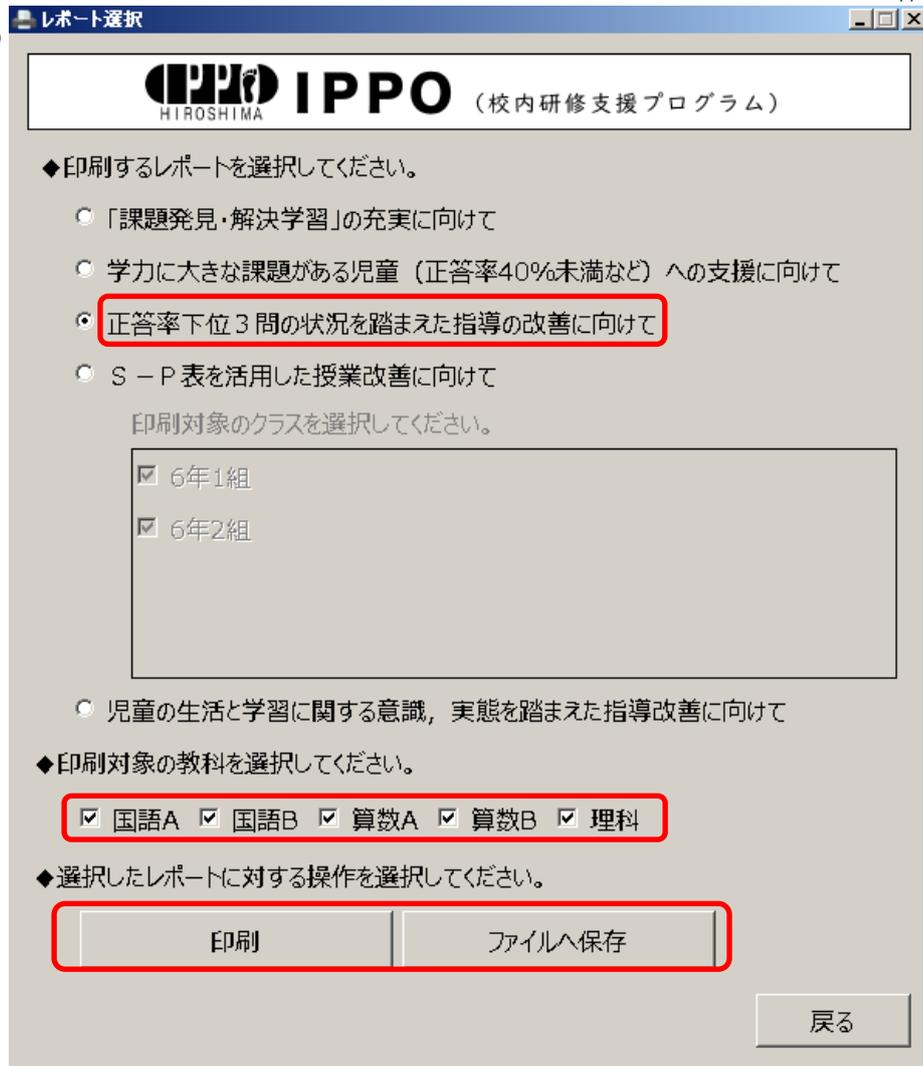
ポイント 該当する児童一人一人の連携で把握したこ

STEP3 学力に大きな課題がどのような手立て(相

4-3. 正答率下位3問の状況を踏まえた指導の改善に向けて

- 【スタート画面】(図2-1-1)で「レポートを作成する」をクリックすると【レポート選択画面】が表示されます。(図4-3-1)
- 「◆印刷するレポートを選択してください。」の下の「正答率下位3問の状況を踏まえた指導の改善に向けて」の左横にある○をクリックしチェックを入れます。
- 「◆印刷対象の教科を選択してください。」の下にある教科の左横の□をクリックでチェックを入れます。チェックは1つだけでも複数でも可能です。
- 「印刷」をクリックすると、【印刷プレビュー画面】が表示されます。(図4-3-2)
- 【印刷プレビュー画面】の上段にある左から2番目の印刷アイコンをクリックすると印刷が出来ます。印刷は、A3版となります。
- 【レポート選択画面】(図4-3-1)「ファイルへ保存」をクリックすると、PDFファイルで保存が出来ます。保存場所の選択画面が出ますので、保存場所を選択し「保存(S)」をクリックすると、PDFが作成されます。保存の時に、ファイル名を変更することが出来ます。

(図4-3-1)



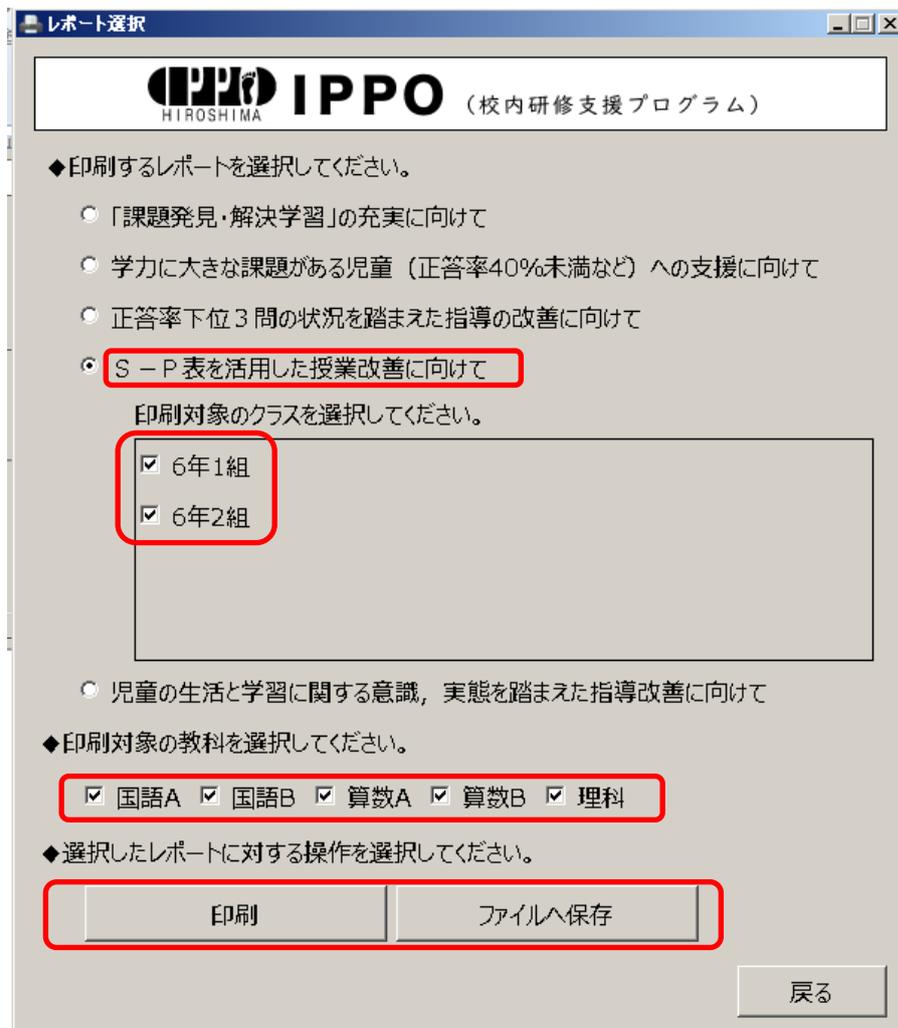
(図4-3-2)



4-4. S-P表を活用した授業改善に向けて

- 【スタート画面】(図2-1-1)で「レポートを作成する」を左クリックすると【レポート選択画面】が表示されます。(図4-4-1)
- 「◆印刷するレポートを選択してください。」の下の「S-P表を活用した授業改善に向けて」の左横にある○を左クリックしチェックを入れます。
- 「印刷対象のクラスを選択してください。」の下にある学年・組の□に左クリックでチェックを入れます。チェックは1つだけでも複数でも可能です。
- 「◆印刷対象の教科を選択してください。」の下にある教科の左横の□に左クリックでチェックを入れます。チェックは1つだけでも複数でも可能です。
- 「印刷」を左クリックすると、【印刷プレビュー画面】が表示されます。(図4-4-2)
- 【印刷プレビュー画面】の上段にある左から2番目の印刷アイコンを左クリックすると印刷が出来ます。印刷は、A3版となります。
- 【レポート選択画面】(図4-4-1)「ファイルへ保存」を左クリックすると、PDFファイルで保存が出来ます。保存場所の選択画面が出ますので、保存場所を選択し「保存(S)」を左クリックすると、PDFが作成されます。保存の時に、ファイル名を変更することが出来ます。

(図4-4-1)



(図4-5-1)


IPPO (校内研修支援プログラム)

◆印刷するレポートを選択してください。

- 「課題発見・解決学習」の充実に向けて
- 学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）への支援に向けて
- 正答率下位3問の状況を踏まえた指導の改善に向けて
- S-P表を活用した授業改善に向けて

印刷対象のクラスを選択してください。

6年1組
 6年2組

児童の生活と学習に関する意識、実態を踏まえた指導改善に向けて

◆印刷対象の教科を選択してください。

国語A 国語B 算数A 算数B 理科

◆選択したレポートに対する操作を選択してください。

印刷

ファイルへ保存

戻る

(図4-5-2)

児童の生活と学習に関する意識、実態を踏まえた指導改善に向けて

自校の児童質問紙の回答の状況（県平均との差）

県平均との差 上位5事項

上位	番号	領域	内容	当てはまる			当てはまらない			差	
				よく	やや	計	計	あまり	全く		
1	(3)	生活習慣	ふだん（月曜日～金曜日）、同じくらの時刻に寝ています。	自校	52.1	42.3	94.4	5.5	3.0	2.5	+12.0
				広島県	45.7	36.7	82.4	17.5	13.2	4.3	
2	(4)	生活習慣	ふだん（月曜日～金曜日）、同じくらの時刻に起きています。	自校	55.0	44.2	99.2	0.6	0.3	0.3	+7.9
				広島県	64.1	27.2	91.3	8.6	6.6	2.0	
3	(27)	「課題発見・解決学習」総合	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	自校	42.0	33.2	75.2	34.7	19.8	14.9	+5.9
				広島県	33.4	35.9	69.3	30.7	23.8	6.9	
4	(29)	社会的事象への関心や体験等	社会の出来事や事件などに関心があります。	自校	57.2	27.5	84.7	15.2	11.2	4.0	+3.3
				広島県	51.2	30.2	81.4	18.6	13.8	4.8	
5	(28)	社会的事象への関心や体験等	新聞やテレビのニュースを見ています。	自校	62.0	27.0	89.0	11.0	8.2	2.8	+3.0
				広島県	58.8	27.2	86.0	13.9	9.9	4.0	

県平均との差 下位5事項

下位	番号	領域	内容	当てはまる			当てはまらない			差	
				よく	やや	計	計	あまり	全く		
1	(42)	自己実現力・自己効力感	自分には、よいところがあります。	自校	32.5	28.7	61.2	38.8	27.8	11.0	-19.2
				広島県	49.9	30.5	80.4	19.6	13.3	6.3	
2	(13)	「課題発見・解決学習」課題の改善	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、	自校	34.2	32.1	66.3	33.7	24.1	9.6	-15.2
				広島県	49.9	30.5	80.4	19.6	13.3	6.3	

STEP1

自校の「強み」(よさや)また、これまでのどのよ

STEP2

自校の「弱み」(課題)はまた、どのような要因が

STEP3


 議論しよう！
 自校の指導をどのよう

5. 全国学力調査の「調査結果のCD-Rはない」場合の操作方法（「基礎・基本」定着状況調査のみ実施校）

5-1. プログラムファイルの起動

- プログラムが起動すると【IPPO 初回起動(1/2)画面】が表示されます。(図5-1-1)
- «調査結果のCD-ROMはない»を左クリックしてください。

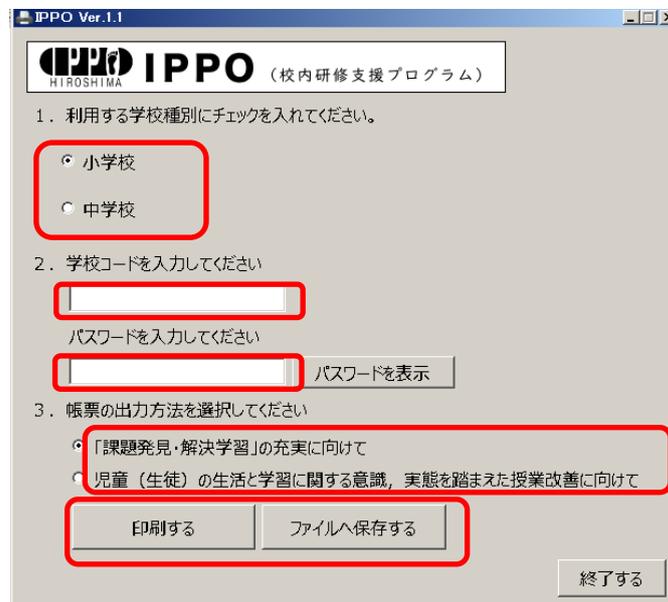
(図5-1-1)



5-2. スタート画面

- 【IPPO 初回起動(1/2)画面】での操作が完了すると、【スタート画面】が表示されます。(図5-2-1)
- 「1.利用する学校種別にチェックを入れてください。」の下にある学校種別の左横の○に左クリックでチェックを入れます。
- 「2.学校コードを入力してください」の下にある欄に、広島県の自校の学校コードを、「パスワードを入力してください」の下にある欄に、学校ごとに事前に連絡されたパスワードを入力します。
- 「3.帳票の出力方法を選択してください」の下にあるレポートから出力したいレポートの左横の○に左クリックでチェックを入れます。«印刷»を左クリックすると、【印刷プレビュー画面】が表示されます。(図5-2-2)
- 【印刷プレビュー画面】の上段にある左から2番目の印刷アイコンを左クリックすると印刷が出来ます。印刷は、A3版となります。(図5-2-3)
- 【スタート画面】(図5-2-1) «ファイルへ保存»を左クリックすると、PDFファイルで保存が出来ます。保存場所の選択画面が出ますので、保存場所を選択し«保存(S)»を左クリックすると、PDFが作成されます。保存の時に、ファイル名を変更することが出来ます。(図5-2-4)

(図5-2-1)



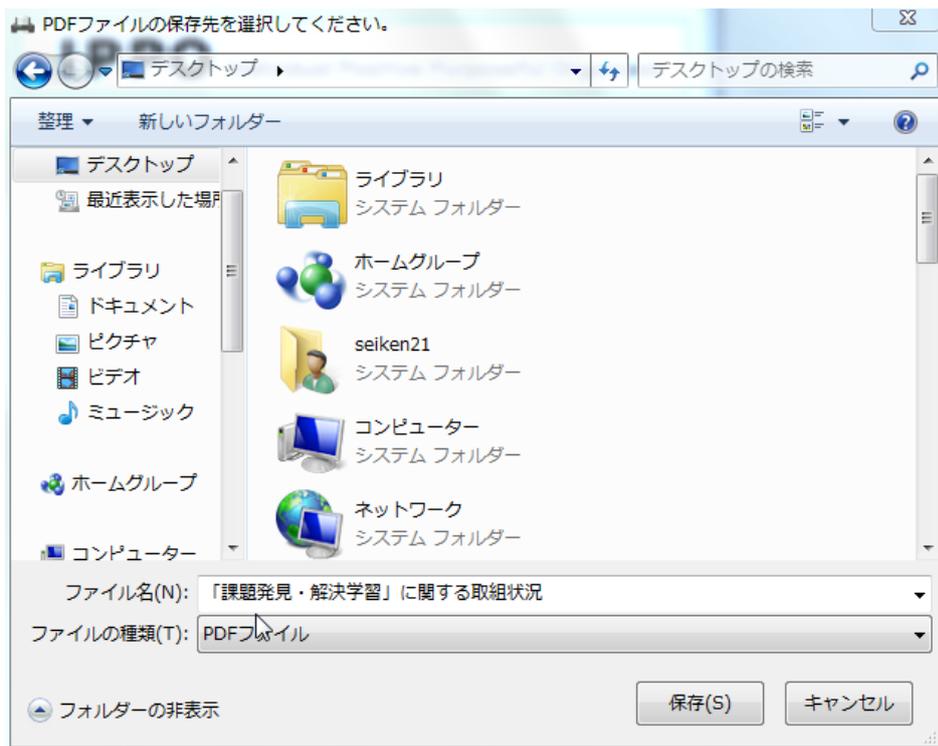
(図5-2-2)



(図5-2-3)



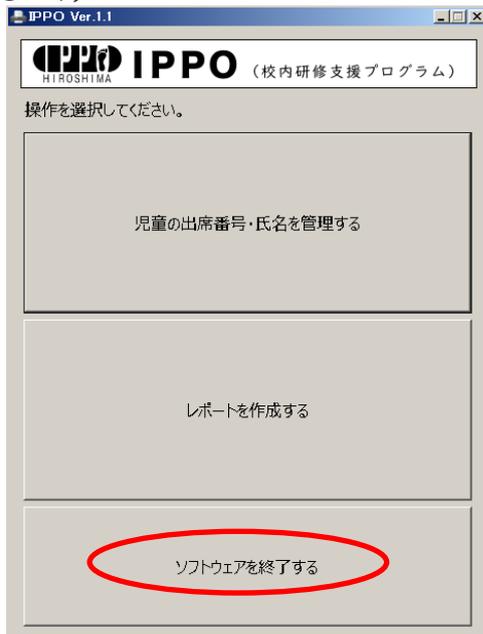
(図5-2-4)



6. プログラムの終了と再起動

- 【スタート画面】から「ソフトウェアを終了する」を左クリックすると、プログラムは終了します。
(図6-1)
- 再起動する場合は、プログラムファイル「IPPO」プログラムをダブルクリックしてください。【起動モード選択ダイアログ画面】が表示されます。(図6-2)
- 「IPPO」プログラムは、前回読み込んだCD-ROMの内容を記憶しており、「前回の続きから」を右クリックすればCD-ROMを挿入しなくても【スタート画面】が表示され、レポート作成の操作ができます。

(図6-1)



〔全国学力・学習状況調査の「調査結果のCD-Rがある」場合の操作画面〕



〔全国学力・学習状況調査の「調査結果のCD-Rはない」場合の操作画面〕

(図6-2)

